一端を乗っても、、特にそはんとするか?各院前にあとり、「時が乗って、物を進めた新顔、獅顔の候補者諸君は如何なる智倫と抱負を勝重要問題を整へて突如榜き超つた「我等の代表を選出せよ!」と市は路重要問題を整へて突如榜き超つた「我等の代表を選出せよ!」と市は直面せる市民の期待にそはんとするか?各院前にの他の移譲調整、興発を重要である。

づ町内會の

分

が

若

i

當

選

5

戦線に起つ人々



美濃部博 一聲明で

海軍部内硬化す

大角海相、兩相と會見

【頁ニ十刊夕朝紙本】

今京 吉川商會 板梯甲板 治安狀况に鑑

みて

動(~)其他必要なる事項配偶關係(*)職業及其異

新京階院既不長

入江

理

陸軍次官

衛生保副主任 衛のルビン鐵路局驅趾課 で

關東憲兵隊

森林伐採を禁止

ふ實業部から發表さる

(東京國通)内閣審觀會特別 場を證明した 内(客)特別(委員)會 「大)客)特別(委員)會 「大)客)特別(委員)會 「大)客)的場合。 「大)客)的。 「大)客)的。 「大)名)的。 「大)名)の。 「大)名)的。 「大)名)の。 「大)名)の。 「大)名)の。 「大)。 「

あす満洲里へ

将所及び地域は左の

を起用するに決定し、二十日後任として古莊第十一師團長

(二) (同方正) (同務刊) 性 教化—記書/ (元) (同別刊) (同別刊) 性 教化—記書/ (元) (同別刊) 性 教化—記書/ (元) (同別刊) (同刊) (同別刊) (同刊) (同別刊) (同別

橋本虎之助

定し

伸ひ後任は東條英機少將と決岩佐關東憲兵歐司令官榮轉に

東條少將决定

貴下ノ清キー票ヲ御投票被下度ク此段奉願候也

新京旅館

友

協

昭和十年九月二十八日

同君ヲ地方委員會委員トシテ最適任者ト認メ推薦致候間

新京地方委員候補者

貴

五味武太郎君

であるが、日齢者は九月二十の定期昇齢につき審査整理中の定期昇齢につき審査整理中

新京地方委員立候補者

五味武太郎君

【大連支社致】関東遞信局で

界給は十二日に酸表される 表の筈である、尚ほ判任官の である、尚は判任官の の話である。

冶事を牽願候 お最適任者と認め推薦仕候間清き一票を氏に御投票賜ら

粉京賽馬俱樂部

の定例閣議に於て左の如く決 一 古莊 幹郎 代一郎中將が廿一日左の如 数 田代 一郎 四年 一郎

る收入とする世帯なること
二、世帯主の月收入二百圓未 強の世帯なること
三、警撃を有せざる世帯なる 家事使用人なき世帯なること 長會議 全滿憲兵隊

習生來滿

神田年前八時より脚東憲兵職 付田年前八時より脚東憲兵職 で は直に宮内府に参内、満州國 東帝性下の謁見を賜り同十一 皇帝陛下の謁見を賜り同十一 中半退下した、午後は引渡さ 「時より各隊長の駅況報告を 「時半退下した、午後は引渡さ 「時半退下した、午後は引渡さ 「時より各隊長の駅況報告を 全滅憲兵隊長會護第一日目は 官に引車され廿日入港の熟河東の上郷天經由京城に赴く豫定の上率天經由京城に赴く豫定の上率天經由京城に赴く豫定 智生百五十名は鈴木榮二書記 ・ 大遠顧鑑》新興滿洲國の認

新京地方委員候補者

金

一票を同氏に

なし瞬司令官の訓示、總務部 本塚原政大氏(廣島文理科大學・長)二十日午後来京國郡ホテル
本世見岸雄氏 同来京
本村春雄氏(軍政部被服本
下春彦氏(外務省歐亜局第
一課長)同來京

成立には難色

ソ聯が態度を敗めぬ限り

西課長來京打合せ

てもその成立は困難観されて

西歐亞第一

境委員會の

投票下され度此段奉願候也 韶昭十年九月二十一日 新京朝鮮人有權者有志 京三笠

新京朝鮮關係有權者有志 有

位ノ御同情アル御支援ヲ御願ヒ申上ゲ肖再度立候補ヲ决意致シマシタ市民各來ル十月二日ノ地方委員改選ニ當リ不

原 百

聲明取消要求か 可法部當局の空氣

政策樹立の基礎資料に

齊家計調查

美濃部博士を召喚

は廿日開順前岡田首相

各家庭に亘つて

取扱して協議の結果、政府に をまり回憶明徴に属する政府 の態度を明かにし國民を十分 の態度を明かにし國民を十分 が得せしめる新對策を講ぜし

島陸相と協議し警告的重大進の不起訴決定事情を追求し同

場を證明した原法相も参加し司法當局の立

ツブ事務官を帶同來る二十長は農政部ジョンデュルジ

里に赴くこ

得し得るやうな方法を講がかの形式で世間の常識が知り見の交換があった際に何何

る一個年の家計園査を行ふと ・ 本天市の三都に於て毎年十月 ・ 本天市の三都に於て毎年十月 ・ 一日より翌年九月三十日に至 ・ 一日より翌年九月三十日に至 ・ 一日との家計園査を行ふと

日支無電連絡

段の政策樹立に對する基礎質 を具備するものの内特別市長し其の結果は行政經濟社會各 世帶主とする世帯で左の要件費の方面に關する狀態を觀察 揚の地域に在る給料生活者をとになったが、右調査は國民 料たるべきもので家計調査を

一、世帯主の勤勢所得を主た 大臣に於て避定したるもので 及市長の推薦に基き國務總理

世間の納得の行く

万法を講ぜよ

海相閣議後語る

外無線電話の最初の閉通であ が無線電話の最初の閉通である、関 が無線電話の最初の閉通である。関 が無線電話の最初の閉通である。関 が無線電話の最初の閉通である。関 が無線電話の最初の閉通であ 一月一日より實施

完備しなかつた爲に延期され 向だつたが支那側の機械等が 向だったが支那側の機械等が

政府に右案を 関の結果成案を 関の結果成案を

馬にて千代田瀬り開舞より來奉、直ちに開前

田ソ國塩粉等處理委員會問題をおれた歌座第一課長四春彦氏は二十日午後二時大使館員はじめ日滿官民多數出迎裡に来

希望もあるが

市民の意響を充分汲んで

左の如し

近一命地方部部衛生陳醫務保主任、 衛生保副主任 桑 田 賞 【大連國通】廿日附滿鐵群令

奉天各部隊を檢閱 見山都験前令都に赴き横いて 湿、滯率第一日の日程を約り 二十一日は午前九時旅館破小 だ、いづれ到るところ運動 追つた、今までがほんの動 追つた、今までがほんの動

浴室勝手等一切完備電話使用便アリ電氣、瓦斯、水道、袋房、水洗便所電氣、瓦斯、水道、袋房、水洗便所では 鐵筋コンクリート 造賃住宅 鐵筋コンクリート 造

新京驛前 富士屋旅館內 秋山





SKOWOWOWOWOWOWOWOWO

四百米
松尾龍一、渡邊常吉、補鉄、松尾龍一、渡邊常吉、補鉄、香志剛、橋太左近、渡邊幸吉、補鉄李葛沫

出場する人

子(電業)、史秀貞授

社

說

政整會解散善後措置を報告

新

n

9

土克敏氏南京へ向ふ

晴れの 支薪情勢に就き報告意見を述 東京滯在中に決すべく、又北 東京滯在中に決すべく、又北 東京滯在中に決すべく、又北 ものとされ、王氏の南下は北 として注目されてゐる

衆部)、野田一任

体剛門税嗣勤務を全

四等給七級

(各通) 小野田 保住權運署曆官級委任四等給月俸六十六圓 近 宗 嚴 近 宗 嚴

任稅關監吏放委任五 (各通) (各通) (各通) 給十一級俸 是 給十一級俸 里 統十一級俸

体育大會に を受ける。
東秀貞(女中)唐玉如(女中) 西米 西米 では、女中)唐玉如(女中) 樂部)、補缺濱崎ユイカ(實設玉香(女中)、野田敏子(實

新京側の選手次る

の代表選手は左の通りである 本天三特別市の代表選手参加 の下に基々しく擧行されるに がで間天會出場の新京特別市 の下に基々しく擧行されるに がで間天會出場の新京特別市 の下に基々しく擧行されるに がで間子會出場の新京特別市

英國爆擊機像 北部に出動

中銀)補鉄、橋木左近(文一元詩(文教部)、李志剛

高石山原

(中級) (中級)、引責 倫投

东夏總署屬官 东夏總署屬官 市濱 勇夫 をできる。 ・ 本資總署屬官・ ・ 事資總署屬官・ ・ 事資總署屬官・ 任大陸科學院研究士然委任二縣總二年九月二日縣總二年九月二日

皆

電三五六七番

國防色服地並に各種毛布取揃

奉仕の價格を以て御提供致しま

す何卒御光來御高覽を御願申上

例に依り紳士服地色物

ます

物地及毛布の大賣出して御座る

今回は皆様御期待の満蒙毛織多

銀市况

金 平日後場)

株式 相

第二回費 三人多一六分九

新京三笠町三丁目

電話長二五一三

多大の御好評を戴き厚く御禮申

前回各服地大賣出しに際しては

愈々多が訪れました

地物學 品 社會 特 布毛 製 蒙 織 提 價 毛

日

至自九月二五月二

一十一日(金融)

場所

戰聖德太子堂

地市況



造元

千代。春琴支店

電話長三八一五

奉天皇姑屯

美濃部學説の

補缺李貴超(兩級域學校)、勝山

ス月上旬に大降雨あり部分的 の本年度米作は七月下旬及び ・ 一

に依り去る八月廿四日現在に 好に加へて作付面積の増加等 被害はあつたが其後の天候良

で前年實收高に比し二割七分が付る收穫後想は二百十四萬

の母收を見込まれてゐる

作 三田田

一共 六 八 六 分 七

第三加賣 第二日

広告販売は電宝でのへ

(工學院)、馬長濟(中銀)、

歴度に出た

いない である順は絶對でわるもの は絶對でわるもの 京取引所

6限 1、1000 限 1、1000 限 1、1000

●横濱生糸

月限 170至 170100 170至 170100 170至 170100 170至 170100 1701 大阪期米

國防色服地學特價金三圓一〇錢以

一碗に付

金三圓五〇銭より金二圓八〇銭より金一圓八〇銭より

金六圓より

品

種

午前九時より午後八時まで

ふことになった

其の他小切物繼毛布澤山準備致 して御座るます

滿蒙毛織縣

莫力達瓦旗の一

跳梁思想匪の徹底的取締に 日満當局、對策を强化

威出全額の約五割は

警備費用に支出

蔵入は昨年度に比し大激増

を殴し新たに法律辨事處を に報告されたが總局では之 復務債権の訴訟審選に當つ を脱し新たに法律辨事處を を脱し新たに法律辨事處を に報告されたが總局では之 変債格の十分の一に當つてる 一萬ルーブル以下のもの 一、選北線を原告とするもの で大體の評談審選に當つ る、之等の大都分は退職金譜 一、選北線を原告とするもの 一、選北線を原告とするもの

舊北鐵債權債務整理のため

調理人刺 **丛二年** 殺犯



























◎貿易業者必備の

年

報





廣

告

0

御

用

11

電三三

0

0

番 ~





日本一流行歌とダンスとユージック

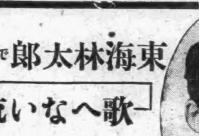
戀の小女郎

旅 笠 道

むらさき小唄

ジャズバンド







博多小女郎波枕 路面 歸らぬ青春 第八回大阪ぐらもくらぶ賞一等當選歌 東海林太郎 渡邊 光子 東海林太郎

新橋 喜代三

政歴では折から來哈中の管下 ー濱江省の縣多事官會議ー

要人信者多數の 単で計日午後二 を増結された九

ED

東京各新聞個用命は

新廳含落成 憲兵分除

大信は新京大和通

正文新宗永樂町三丁目園 ・ 人工

业退き 進捗す

圖們江岸土幕民

島川領

事の

禹廣告相談所

も無料で應じます午後二如何様な贋者の御相談に 新聞肚廣告部

金 融

多数の寄贈の申

終了**次第復應合から移轉する** を管である衛軍観題都の検査



印

帳簿 凸帳

會致雙發洋行印刷部

新京日本橋通七十四番地 三人二二十 二人三日

安部鍼り、やい

3

德元 年版-第を教ふる唯一の指針たり。 を腰はず、會社商店の常事者は座右に備へ二種の智並に官丞衝、商工教育機関に終る凡ゆる人々は此の

を発性 各書店にあり

といはれて居る狀態としては

京



秩父宮杯競ふて

場時出脚原 所:演色作

京代協山氏 會

早慶職入場 が親日、

たばつかり

第四景 球場入口 祭) 一条 駅 有 路

嘿 ものは二割一分あとの七割九いか有線です、心理學的にみないがる園はない、「親心」といふ日本の言葉はとても外でいせれております、そんなでいせれております、そんなでいせれております。そんなど 乳をのむの温みで

繊維性の物 マ及び

(H

大れ が多いために、専門家に任せ せん よくブラッシュで換を拂ひ落 つて し、前配の蒸し食ベンを用ひ すこ るが、レモメの實を手頃に切 すこ るが、レモメの實を手頃に切 すこ るが、レモメの實を手頃に切 すこ るが、レモメの實を手頃に切 する つたもので換るとよごれがと たは れてキレイになります す。この帽体部のよごれはアールともいふもので紙にセル ルセル石鹸様の良質の

● (1) ● (本教力無った。 本教力無の を競き過ぎて、美味しい細分 を競き過ぎて、美味しい細分 を競き過ぎて、美味しい細分 を競き過ぎて、美味しい細分 を競き場らぬやらに なつけ、玉子をくぐらせ、 からりと揚げます、一人當 からりと掲げます、一人當 からりと場げます、一人當 一〇、五九 時 報(東京)

東京無線 0四.1 畫 〇〇〇一經濟市況 (大連) 一二〇二二二元(東京) 一二〇二二二元 (大連) 経済市況(大連) (大連) (大連)

市況に引載)

ラヂオ・ナンセンス

早慶戰時

「四景」

後七・〇〇

新京藝術協會出演

手としても、既に世評嘖々た れてゐる方で、アッテイリオ ペレッテイ氏と共にオペラ歌 太利のリヴ

レリア・ すの獨化成有ボ道代令の八曲

もの

に紙をつけ込んでから紙で概で包み、箱に入れ箱の空

ふ

の番

組

廿一日(土曜) (新京放送局)

宋隆江

いっこ

六、〇〇 建炭酸燥

子供の泣き方

でして好成績を挙げて なことに非 かことに非 ・ 幼児の死亡 子にお乳は考へ

第一は飢餓を訴へる時には しつて毒になり胃腸の障害を担いない。 第一は飢餓を訴へる時には しつて毒になり胃腸の障害を担いかにも底力のある膠で食い。 お許りでなく、自分の存在をかしてるます。 かしてるます。 かしてるます。 かしておます。 かしておまり。 今心理學者の 要するに虞の親の愛であるなりませら、今心理學者の 要するに虞の親の愛であるなりませら、今心理學者の らばその泣き方をよくみきはからませら、今心理學者の らばその泣き方をよくみきはからませら、今心理學者の ちばその泣き方をよくみきはから、 ないの意識をといい。 ないの意識をといい。 ないのではいりませら、今心理學者の してある ちばその泣き方をよくみきはから、 ないのではいり、 ないのではいるというないのではいるというない。 ないのではいるというないのでは、 ないのでは、 ないのでは、

入港船の御知らせ (大連)

下さい。

の婦人帽子の

一人に藏

また米年使ひませらし

大、一〇中等滅語講座(大連) 七、一〇中等 日語講座(本美) 七、一〇中等日語講座(本美) 引護き 朝の音樂 (大連) 八、一〇 経濟市況 (東京) 九、一〇 智樂 (レコード) 九、一〇 智樂 (大連) 十〇、五〇 野球試合實況 (東京) 東京大學野球計 忠 (東京) 東京大學野球計 忠 (東京) 東京 (東京

の伊藤教子さんは新進のソブーの伊藤教子さんは新進のソブーの伊藤教子さんは新進のソブーの伊藤教子さんは新進のソブーの伊藤教子さんは新進のソブーの伊藤教子さんは新進のソブーの伊藤教子さんは新進のソブーの伊藤教子さんは新進のソブールを選んでの放送です。歌ひ手の伊藤教子さんは新進のソブールを選んでの放送です。歌ひ手

重唱さば

が聞きるのです。

ラニ

後七・三五東京

○子供のテキスト九月號 特選賞議 一、おまはりざん 近代伊太利 短篇オ 0

船部)(哈爾濱)

FI

はりさん、暑いでせう。河村直則作曲

(子供のテキスト特選童講) 柴田季子

外維策 靜 名名民安苑軒宗 たのおけ

九〇〇高

子供の時間

七二五二章

ははげない。

通りある お宅で洗濯なさる時にはプレンれは鯉田ネオラ、ミランス

家庭メ 馬鈴薯の粉ら

むき取つて入れておくと味味噌の中へ生杉の皮を少し

附

て三十分位つけておくと紺洗濯水の中に酢を少し入れ のクリームで磨くと綺

五二五令 五〇二千

七、〇〇ラス



今が眼病の治療時

の低下を招きます。終つて収録は断とです。そればかりでなく吸は解析を出力を表すに動に、吸収が関れたりした変はあまりに動い、吸収液で吸密が関係を持つて居ります。終つて収録で吸密が い限病は英人の生活を暗風にします。 眼病は手當次第で

養生時



9









味の上に液体が一つポ

オ・コ

+

〇海路間の影とがいてゆく若者の影(や、暫らく) 者の影(や、暫らく)

堀種鶏

といふ上海市政府、自殺防止委員會の宣修文めいた序言に始まり 特有の功利主義的なところが遺憾なく 教輝されてゐることは大いに注意すべ きである と大見得を初り

食料品

稲海長生心に任す

愛生社

坂本式普通ペー

築造元

自分が光默してゐるので、 させて光默を守つた顔色にもの言 はせて光默の反抗をしつよけ るのであるむつはまた言つた

る。からして。この馬鹿な女が一人ぎめにきめ込んでゐるからなのだと思へて、でゐるからなのだと思へて、今までの夜母にふれた体の快感は何か不自然な連鎖に似て来て、健三は怪侮の念を倍にした。そして、今の内だと、探しに来るむつの手を振つてぶいと外へ飛出した 見着したむつの屋が迫ひ

安 麻 弟 路 本 本 本 本 の 丘越えて とぼ

商會

城・高雄・スラバヤ

●多年好評ヲ博セル

が勝る。

女房具 祝町三百回 及附屬品 大氣堂 電話二四二五番 所在地也要·礼徒·克支店出張所大阪·小倉·名

夕陽落ちれば

0

(完)

振葉の香に小鳩の夢を含んだ 密度の濃い新鮮な空氣が感じ られた。池のほとりのペンテ に腰かけ、思ひ切つて大きく 呼吸するのである。空な心が が今やらやく恢復するのを覺 がた、星と、微かな電光と、

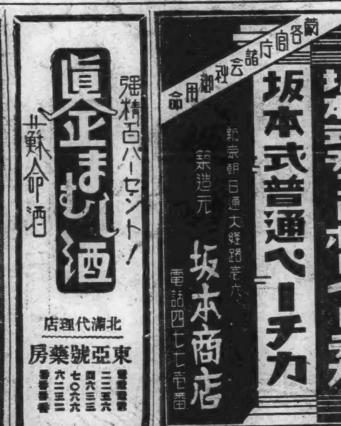
追ひつれば 黒雲に 消えにし魂 語れ共 只みつめ 夢影寄し

行める幻に 今寄亦 に 通

戻は違る しみぐ 薄らげ

影照らす しづくと かい地平の あの様は 神は迫りて

天 李節料理



חח

全満の待望の中に生る

速かに一盏を

傾け給

11

芳醇無比!

その香・色・味共に





を開いて一歩一歩と征服して行くべきを開いて一歩一歩と征服しる手盤は、如何なる手を開いて一歩一歩と征服して行くべきを開いて一歩一歩と征服して行くべきを開いて一歩一歩と征服して行くべきを開いて一歩一歩と征服して行くべきを開いて一歩一歩と征服して行くべきを開いて一歩一歩と征服して行くべきを開いて一歩一歩と征服して行くべきを開いて一歩と征服して行くべきを開いている。 ながら、「動画の画徴を整然します。
で悪血毒素を吸收して、鬱血を解消し
であります。

を使用されよ!
を使用されよ! 剧面甦生

本等、特核等の初期のもので、容易をしている。 では、世性への移行を観視しなければなりません。この様な症状は、ふとした不能生の後で急激に影響して出意。 なりません。この様な症状は、ふとした不能生の後で急激に影響して出意。

理住

不快執拗なる痔疾は

小松に依つて

○灰皿に置かれた爆草からゆるやかに置が立ち昇つてる ○関かれた本

○書摘一杯に開かれた本の頁

〇馬車に洋製の若い女が乗つ てある。 〇岩者走写でくる馬車の上の 女を見る。

ナギーに似てゐる。ケギーの顔とたる。

後野酒店

新京支店

お買ください

安海

(B

3 土)

月ケ六娠妊

であることとで数する降です。 おけがが、一点を食べることになりますが、「皮は悪い」とは、一点を食べることが言葉があると、一十分になり、一十宮は、小魚を食べることが言葉がなり、子宮は、小のることとで変すると、一方で、月頃に胎が、「皮を食べることと、一方で、月頃に胎が、「皮を食べることと、一方で、月頃に胎が、「皮を食べることと、で、月頃により、一方で、月頃に胎が、「皮を食べることと、で、月頃により、「皮を食べることと、で、月頃に胎が、「皮を食べることと、で、月頃により、「皮を食べることと、で、月頃により、「皮を食べることと、で、月頃により、「皮を食べることと、で、「皮を食べる」と、「皮を食べる。」

月ケ七娠妊

に 弱さとに を 細され く 運えかもつ 働きは せ 心とが 差さ動きな

月ケ八娠妊

月ケ九娠妊

月ケ十娠妊



(2) (1)

全國各地産婦人科及産院に 於ける綜合實驗報告の特徴 於ける綜合實驗報告の特徴 が樂である 母體が良くなる為お乳の質が くなりお乳の出が豐富である 分娩が順調である為發育成長 連い 連い を出さずクサが出來ない を記さずクサが出來ない を記さずクサが出來ない を記さずクサが出來ない を記さずクサが出來ない を記さずクサが出來ない 主

輕快に

門脇障害

(4)

(3)

極養 然 ス 人 弱不 テ 血 テ血 症耳不りの (三百六十倍人) 僕力 一個八十錢 消化不良 骨 腺 腺 症 弱 症

『粧産褥婦の衞生』『紅産褥婦の衞生』

NB 114

五千台

= 6

+ 35

式株友澤 **肚** 會 吉 商 藤 町本區隨本日息第一町修道圖東區大

長るが良

分娩

神に立って系でと

産さ

で 食血を恢復するな

なるのでその効果に於て單一なカルシとは多大の相違があります。 從つて最大の相違があります。 從つて最大の相違があります。 といて最大の相違があります。 といて最近のであります。

月ケー娠妊

轉な酸な服々支み經じに妊じる普

月ケニ娠妊

文妊 月 4

月ケ四娠妊

月ヶ五

はる様にないは、または、これはお腹の で下から、様、または、これはお腹の で下から、様、または、これはお腹の で下から、様、または、これはお腹の で下から、様、または、これはお腹の で下から、様、または、これはお腹の で下から、様、または、一般ので で下から、様、または、これはお腹の で下から、様、または、これはお腹の で下から、様、または、これはお腹の で下から、様、または、これはお腹の で下から、様、または、これはお腹の で下から、様、または、これはお腹の で下から、様。または、これはお腹の で下から、様、または、これはお腹の で下から、様、または、これはお腹の で下から、様、または、これはお腹の で下から、様、または、これはお腹の で下から、様、または、これはお腹の で下から、様、または、これはお腹の で下から、様、または、これはお腹の で下から、様、または、これはお腹の で下がら、上へ腰から横がな なったがなった。

きのふ「ど、ろき」の騒ぎ

天野京大教授

田新氏を迎へ、二十一日午後京中の僧島文理科大學教授長等官誌氏とよるに來部教授天等官誌氏とよるに來

陽來復の秋

伊ェの戦雲を反映して

新京特產界活况

あるが、今夏の特産恐慌以来 気を呼んで翌年特越豫想も常 気を呼んで翌年特越豫想も常 では却つて歐洲方面の質 ではあった。

電部を訪問同様 (本語) (本語) では、 一年に出席、 特確取引について (本語) では、 一十一日は (本語) では、 一十一日は (本語) では、 一年に (本語) では、 一年に (本語) では、 (本語) で

食影、動語の寒憑、

二階から教命

室町小學校では二十一日午前 四年以上は南嶺へそれん〜選 足を行ふ、なほ家致女學校、

室町校の遠足

た上二十二日午前十時二十分

祝遠な働きをみせたー

北支へ

山領氏母堂

慎飛行士

と作ら今夏福度に悲観されて 般財界好輔のな人領もさるこ を

本京 (1) 大田 (1) 大田 (1) 大田 (1) 本の (1) を使っている。 (1) を使っている。 (2) では、 (3) を (4) を (

の講演賞を開催する タリ

・・ナイトを健すこととかに報、新京ロータリータラ 公認祝賀 明朝九時から

記念運動

!女學校が

請職新京地方事務所の主催で

町會館で

満載の歌等のプログラムであ

・ 敷国の試合の結果、結 の関丁で、象君断然類 の関丁で、象君断然類

の頃、満州乙女、

琴舞踊のタ

女學生たち總動員で活躍

一日午前七時新京課設列車で ・受轉した横山昇吉氏は二十 に受轉した横山昇吉氏は二十 に受轉した横山昇吉氏は二十

御禮の一個

お子供様で一

人の店

内村、横山兩氏

きの

ふの非常演習

松旭齊天勝

二十日乘込む

一十日午後一時前列車で來

直ちに新京神社ならびに

支店新京日本橋通本店新京吉野町一丁目

佐藤宇治太郎氏 遂に出馬斷念 持つ愛國の士里見岸雄氏の大明治會々長田中智學霸を父に

里見氏講演會

士の來會者

白衣の勇力

土達

一十日午後一時三十分頃市内一馬車馬の怪我

ス衝突

の調、ふんころがしの歌、六 來る二十四日午後六時半から **チョコレート、羆髪、蘅京お** 琴と鱶さん方の舞蹈でひばり 白菊町會館で琴と舞踊の會が 催される、大橋勾當門下のお

米間の試験が十九日上野

又は得奇三個人一組宛八千六百九十五等小皿五枚

後二時四十分酸列車で新京の傷

中でヘルピンから二十九名それん、新京に到 列車で拉法から七名、同日午後三時

五十人力

時にしても好いといふ御杵話をしても好いといふ御杵話をしても好いといふ御杵 はないが、満洲国政府から今度の架構は大した用件で

も思はれぬ宣嗣に後笑をた

あす二回新京に着

特等醫油

ンマルマ 景品種目

九升樽詰 壹樽毎ニ

偏景 四等香油用片口 一個宛千二百木 一等錦 抄 一反宛 十 木二等市 地 一木宛三 十 木

抽

全満各地ニ販賣ス 籤券進呈



所員、名古屋飼料職入商組合とる十九日へルビンで開催の機開時電協會第十一回總會に満洲特電協會第十一回總會に

早速座談會の催

首都憲兵隊

真を消し率天、

上野由人氏

・ 検九吟逝去じた、なほ都儀 が薬石効なくついに十九日 のは、ないでは、ないである。

但馬町三十六番地山領

左記へ御願致シマス (都合ニ依リ賣渡シタシ)御問合セハ吉林一等目拔、場所料理屋新築家屋

新京東二條通八島小學校前

賣家廣告

喜びの招宴

まづあすは第一分合で

各分會こも實施

から新京取引所その他合同主 で新京に到着、名古屋ホテル に投稿した、一行は同夜七時 に

都無兵職全員百餘名はこの程吉林に於て訓練中であつた首

うへ、本年六月長女智惠子さ てゐたが、此程漸く回復した

馬車の忘れ物

弊館コト人月以來增築中ノ電今穀蔵工致シ候ニ付書ニ

下宿間貸し

吉林より歸京

来より健康を害し殆ど一キャピタル上野由人氏は

移民團先遣

10つラルド・エル・ファーカー氏及獨進人フリンを開設ロンドンに向け飛行中の駐局英公使

第二條 記念章の調式左の如

御訪日記念章 記念章令制定さる

がは左に掲くる

大連に着く

出来上つた側訪日の日より之を施行

本九月十四日 原日敷組一ヶ 満様作業服一枚シャッ二枚 (大郷路警察署へ送付) 人九月十七日 減人子供服二 着"カミッリ二枚(長浦路 警察署に取者届出) 本九日十九日 草郷二卷(大 網路警察署に送付)

日 一ヶ月五十五届 三 十 編

(元肥長屋) オ

同

所主任宮地剛平氏は興安病院新京老松町二丁目村泰租出張 時逝去、享年三十九、二十院加寮中の處、十九日午後

赤飯·祝餅·專門店 本日より 御用命の程伏して顧上候 市内貌町五丁自

日之出餅 言語六三六六番

當組新京出張所主任宮地國平議 華有事際職候生前病弱ノ故ッ以

视町一丁目一 花 徽 佛 環 章 具 加藤葬儀社 加藤造花店 電三一〇八番

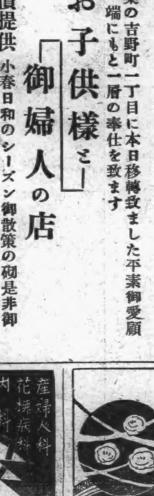














1

製薬をふむので

ないと、自信がありませんの」

脱子は影情をきめてゐた。」

金井郷路園へ戻るのがいる

強靱な體軀を創る

小粒で服み易い

AMA 特製品發賣

渡はまた間じ言葉をくり返し やがて数をかいめた。

と思ふと、彼がはその純な気持

夜がは少しの間に、あれてれと 明むにでも、

D. としたむる

日する榮養强 にして豊富 社割であつて、虚弱體質者、 ます。理研ヴィタミンは純ます。理研ヴィタミンは純いれた。 を含めて、體重、體力の 體重、體力の

榮養の表へる夏

こそヴ

Dの最も

社會名合置玉益数店理代總

よめ止射を力體 るす抗に熱暑 世界十 せしめます! 5 日本化學會 國製法 夏痩夏負に虚弱體質に 體力減退に

瓦斯のない家庭の福音

不意の來客の時………

マツチー本で助ります

本年流行新柄地が豊富に揃ひ皆様の御來店を御待ち申して居ります 物 新

は品産土御のり蹄地内 實 澤が品す召に氣御トツキ すまいざど山 0 装 身 店门東石鬼 **部石宝会商間岩** 番七四〇三園 前局便郵通央中京新

旺盛に、

榮養を昻めて

抵抗力を强め

本劑一日數粒

の常用は

健康上頗る有意義であります。酸刺と元氣づけます。酷暑を敵刺と元氣づけます。酷暑表弱者等の夏痩せ夏負けを恢

虚弱兒童に

夏の衰弱を防ぎ且恢復

別 越 荷 物 雄 築材料運搬

売船一個目、 ・ 一個目、

音野町の 一個下命は! 田前迅速」 電話三二八三番野遊には當店自慢の松前壽司を!!

本當に便利經濟なスネールコンロ

*** 大連洋行